

府内17動物病院における動物由来感染症発生状況（平成28年度）

○主な感染症の発生件数(合計) 853件

★発生ランク

発生件数順位		件数
1位	マラセチア症(耳介のみの発症は除く)	301
2位	回虫症	184
3位	ランブル鞭毛虫	128

※ 発生件数は臨床診断によるもの

○考察

平成28年度は、マラセチアの報告方法を耳介のみの発症は除くことに変更したところ昨年度より減少しました。しかしながら気温の高い夏場に報告件数が上昇する傾向は、従来どおり見られました。年間を通じて、ランブル鞭毛虫症や回虫症が全体の中で多く占めています。また、レプトスピラ症の発生は、家畜伝染病予防法に基づく届出が2件ありましたので、ワクチン接種を行うなど予防に努める必要があります。

※今年度、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の積極疫学調査を実施し、実施南部地域で保護された犬および引き取られた犬で抗体陽性を確認されました。

※動物を触った後や糞尿の始末をした後は、手洗いの励行が重要です。また、ダニの駆除を定期的に行うことが必要です。

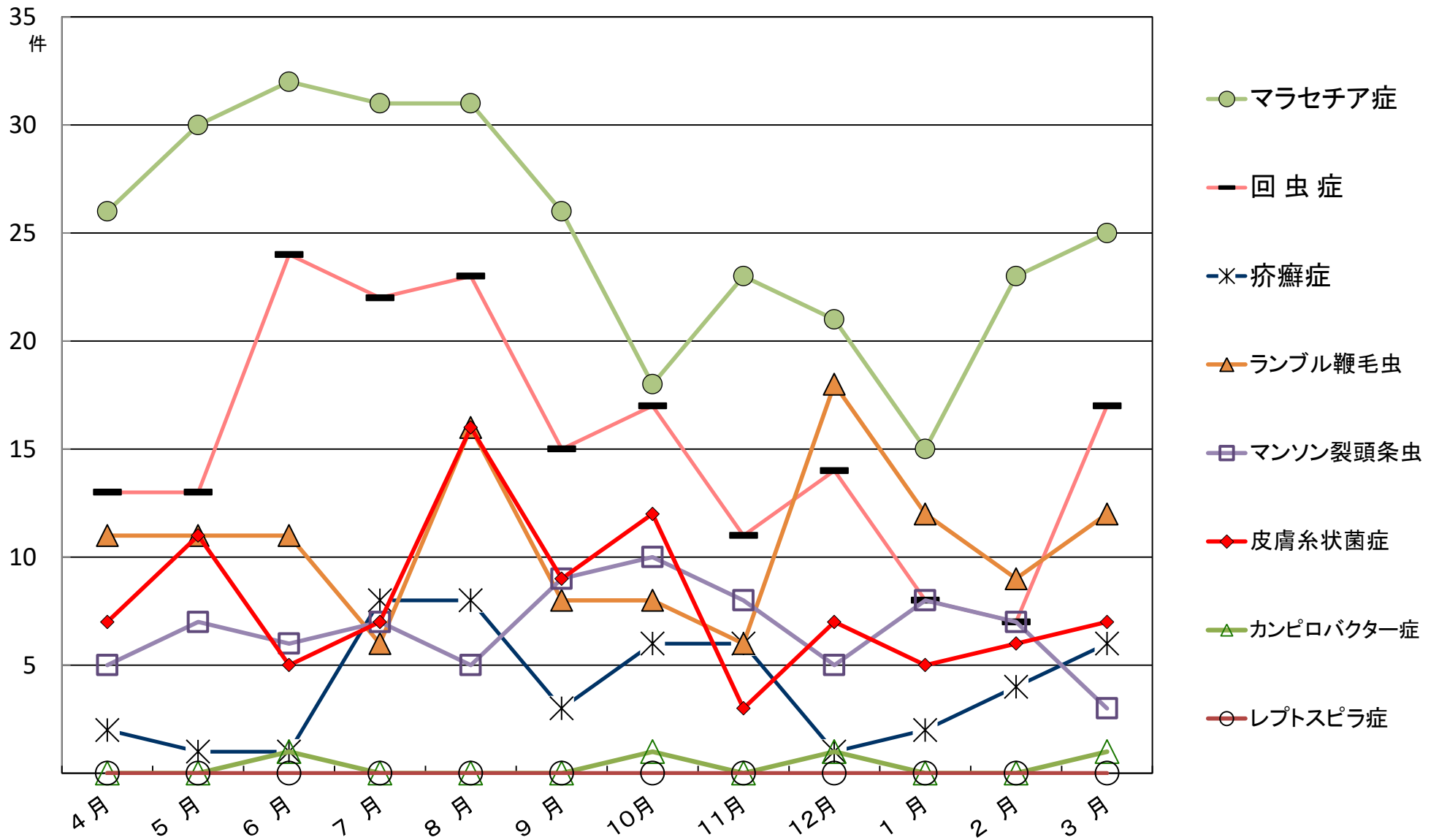
府内17動物病院動物由来感染症動物種別発生状況（平成28年度）

【主な動物感染症】

属	感 染 症	犬	猫	その他	計
ウイルス	狂 犬 病				0
	高病原性鳥インフルエンザ(H5N1)				0
	H5N1を除く鳥インフルエンザ				0
	新型インフルエンザ等感染症				0
クラジミア	オウム病				0
細 菌	結 核				0
	ブルセラ症				0
	レプトスピラ症				0
	カンピロバクター症	3	1		4
	パスツレラ症				0
	エルシニア菌症				0
原 虫	ランブル鞭毛虫	104	24		128
	トキソプラズマ症				0
真 菌	皮膚糸状菌症	42	37	16	95
	マラセチア症(耳介のみの発症は除く)	301			301
寄生虫	マンソン裂頭条虫	5	75		80
	エキノコックス				0
	回 虫 症	57	127		184
	東洋眼虫	1			1
	鉤 虫 症	8	4		12
	顎 口 虫				0
	疥癬症(耳疥癬症を含まない)	31	15	2	48
計		552	283	18	853

※ 発生件数は臨床診断によるもの

府内17動物病院における動物由来感染症月別発生推移（平成28年度）



平成28年度動物由来感染症(SFTS)疫学調査結果

検体番号	検体		動物情報					検査結果
	種類	地域	動物種	種類	性別	大きさ	推定年齢	
1	血液	山城南	犬	雑	♀	中	1~2	陰性
2	血液	中丹西	犬	雑	♂	大	3~5	陰性
3	血液	南丹	犬	雑	♀	中	5~7	陰性
4	血液	丹後	犬	ラブラドルレトリバー	♀	大	5	陰性
5	血液	中丹西	犬	雑	♂	大	2~3	陰性
6	血液	丹後	犬	雑	♀	中	2~3	陰性
7	血液	南丹	犬	雑	♀	大	5~7	陰性
8	血液	丹後	犬	雑	♂	中	2~3	陰性
9	血液	南丹	犬	Mダックス	♂	小	7~9	陰性
10	血液	南丹	犬	Mダックス	♂	小	7~9	陰性
11	血液	山城南	犬	雑	♀	中	4~6	陰性
12	血液	山城北	犬	雑	♂	中	3~5	陰性
13	血液	丹後	犬	チン	♂	小	2~3	陰性
14	血液	南丹	犬	雑	♀	中	4~6	陰性
15	血液	中丹西	犬	雑	♀	中	3~5	陰性
16	血液	南丹	犬	紀州	♀	中	7	陰性
17	血液	南丹	犬	雑	♂	中	4	陰性
18	血液	丹後	犬	雑	♂	中	5~6	陰性
19	血液	山城南	犬	雑	♀	中	1~2	陰性
20	血液	山城南	犬	雑	♂	中	4	陰性
21	血液	南丹	犬	雑	♂	中	1~2	陰性
22	血液	山城南	犬	雑	♀	中	1~2	陰性
23	血液	中丹東	犬	雑	♀	中	1~2	陰性
24	血液	中丹西	犬	雑	♀	中	7~9	陰性
25	血液	山城南	犬	雑	♂	中	5~7	陰性
26	血液	山城北	犬	雑	♀	中	9~10	陰性
27	血液	南丹	犬	雑	♀	中	7~8	陰性
28	血液	南丹	犬	雑	♂	中	7~8	陰性
29	血液	山城北	犬	雑	♂	中	11	陰性
30	血液	南丹	犬	雑	♀	小	5-7才	陰性
31	血液	山城南	犬	雑	♂	中	15才	陰性
32	血液	南丹	犬	雑	♀	中	6-7才	陰性
33	血液	山城北	犬	雑	♂	中	6-7才	陽性
34	血液	山城北	犬	雑	♂	大	5才	陰性
35	血液	山城南	犬	雑	♀	中	14才	陽性
36	血液	中丹東	犬	雑	♀	中	7-9才	陰性
37	血液	南丹	犬	雑	♂	中	6-7才	陰性
38	血液	中丹東	犬	雑	♂	大	1~2	陰性
39	血液	南丹	犬	雑	♂	中	4-5ヶ月	陰性
40	血液	乙訓	犬	ダックス	雄	中	13才	陰性

コメント

今回、南部地域で保護された犬および引き取られた犬で抗体陽性が確認されました。SFTSはダニの吸血により感染します。センター搬入時にすべての動物にダニ駆除を実施し健康管理の上、譲渡対象としております。なお、当該犬も健康状態もよく管理され、譲渡されました。